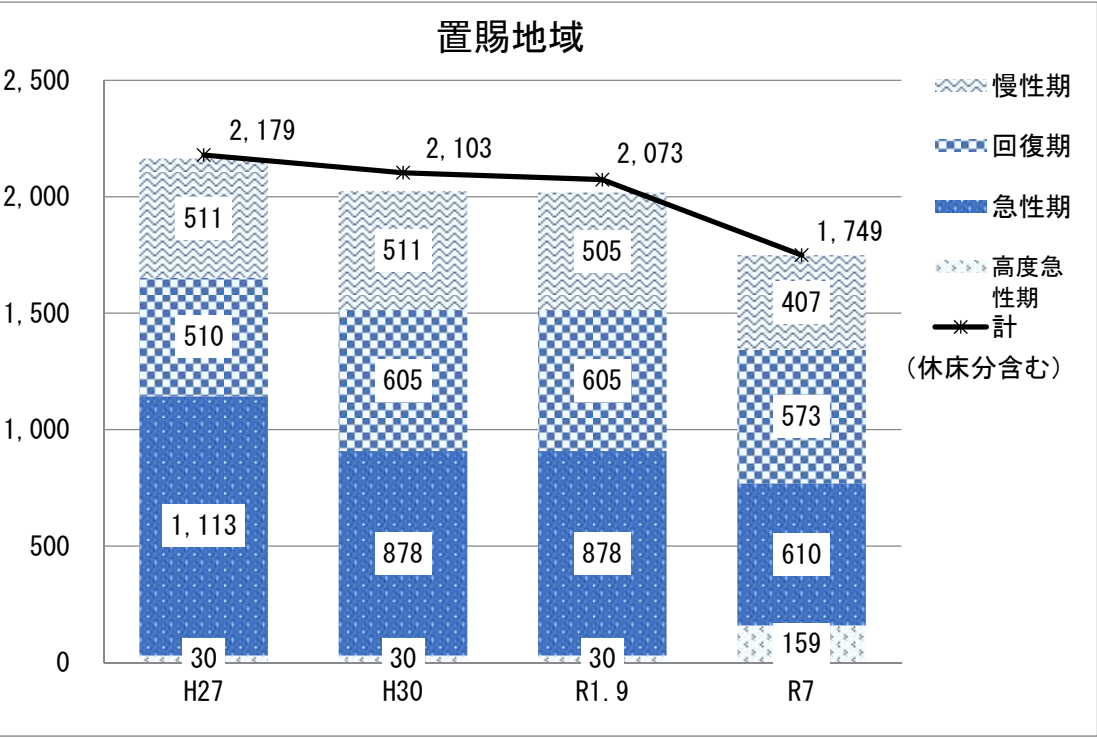


置賜地域における医療機能の分化・連携・病床規模の適正化

取組みの方向性

限られた医療資源を有効かつ適切に活用するため、引き続き、基幹病院としての役割を担う公立置賜総合病院及び米沢市立病院と、他の病院との機能分担（急性期病院とそれ以外の病院の機能分担）による医療提供体制の整備を促進する。

1 病床数・機能転換の状況



○令和元年9月末時点の病床数を令和7年度の病床数（地域医療構想の必要病床数）と比較すると、高度急性期及び急性期は139床多く、回復期及び慢性期は130床多い。  
（今後の見込みを勘案した病床数を令和7年度の病床数と比較すると80床程度多い。）

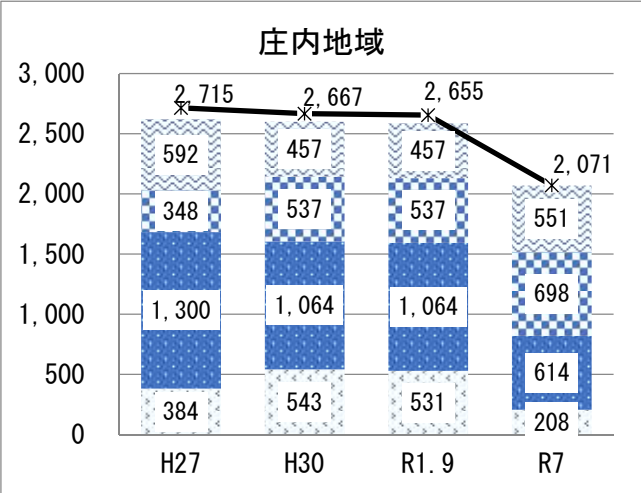
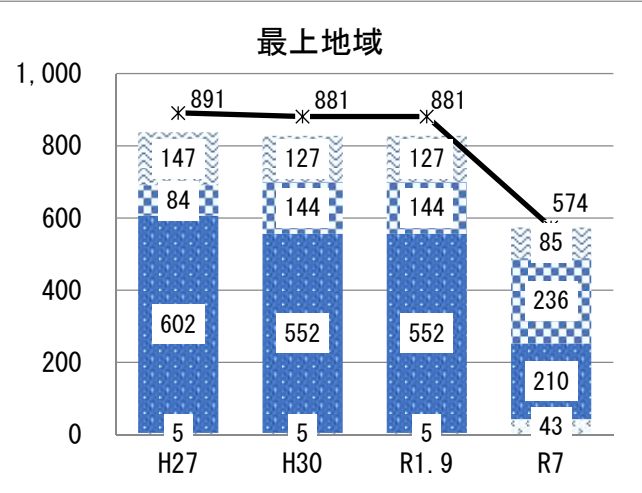
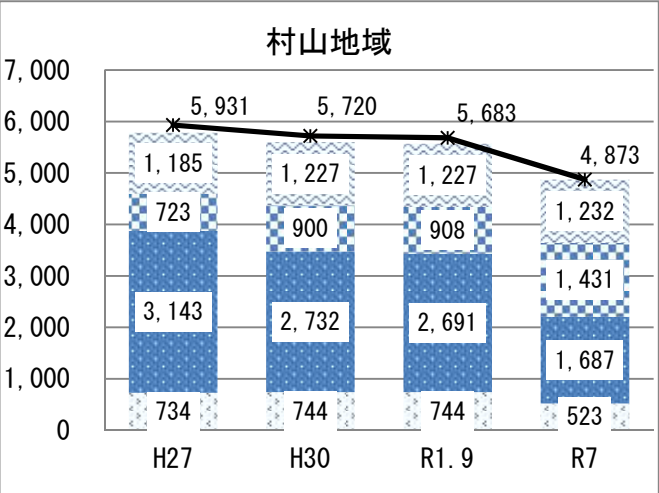
	病床機能報告及び地域医療対策課調べ			R7（地域医療構想必要病床数）②	① - ②
	H27	H30	R1.9末①		
高度急性期	30	30	30	159	▲ 129
急性期	1,113	878	878	610	268
回復期	510	605	605	573	32
慢性期	511	511	505	407	98
（休床等）	15	79	55		
計	2,179	2,103	2,073	1,749	269

※休床等を除いて比較している。

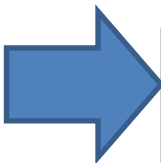
※今後の見込み（令和元年度までの病床機能調整ワーキングで合意のあったもの）

病院名	内 容
公立置賜総合病院	現行病床数 496 床（高度急性期及び急性期病床）のうち 100 床程度削減（一部削減済）
米沢市立病院	現行病床 322 床（高度急性期、急性期、回復期）から令和5年度の建替後 270 床程度（高度急性期及び急性期）へ見直し
三友堂病院・三友堂リハビリテーションセンター	【三友堂病院】現行病床数 187 床（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）【リハ病院】現行病床数 120 床（回復期）から、令和5年度の建替後 199 床（回復期及び慢性期）へ見直し（リハ病院廃止）
公立高畠病院	現行の急性期病床 42 床を回復期病床へ転換
白鷹町立病院	現行病床数 70 床（回復期）を令和2年度から 60 床（回復期）へ見直し

○参考 他地域の病床調整（病床減、機能転換等）状況



2 今後の取組み方向



引き続き、管内病院間の医療機能の分化・連携等を促進するとともに、各医療機関が抱える個別課題等に対応するための、情報提供・助言等に取り組んでいく。  
（特に、病院間の連携・役割分担について病床機能調整ワーキングや置賜地域保健医療協議会において協議を進める必要がある。）